

約3万件の頭皮データから with コロナ前後の変化を解析

～マスク着用により頭皮の皮脂量が増加する可能性を確認～

美容室向けヘア化粧品メーカーの株式会社ミルボン(本社：東京都中央区 代表取締役社長・佐藤龍二)は、コロナ禍における生活様式の変化が与える頭皮や毛髪への影響を明らかにするため、34,678名の女性の頭皮データを解析しました。その結果、2020年8月～9月は2019年の同時期よりも頭皮の皮脂量が増加していることがわかりました。

本研究成果は以下の学会で報告致しました。今後もさらなるビッグデータの収集と解析を進めていきます。

【外部発表】

発表学会：第87回 日本化粧品技術者会(SCCJ)研究討論会

発表タイトル：COVID-19 感染対策が及ぼす頭髪状態の違い～日本国内の地域別データ解析結果より～(Effect of prevention of COVID-19 infection on human scalp hair condition - From analysis of data in each region in Japan -.)

発表日：2021年12月3日

【研究の背景】

コロナ禍において、長期間のマスク着用やステイホームによる外出自粛などライフスタイルが変化しました。それに伴い肌ではマスク内の蒸れによる肌荒れなどが報告されていますが、頭皮に関しては科学的な調査が進んでいません。ミルボンでは以前から47都道府県の実験室に協力を仰ぎ、Smart Skin Care®[※]を使って、来店される女性顧客の頭皮データを取得し蓄積を行っていました。コロナ禍における頭皮状態の変化を明らかにすべく、集積した延べ34,678名の頭皮データより、緊急事態宣言が発令された2020年と前年2019年の状態を比較しました。

【研究の成果】

2020年の夏における頭皮の皮脂量を前年と比較すると、顕著に増加していました(図1)。特に9月では、前年比2倍以上と著しい増加が確認されました。マスク着用により顔の皮膚温が高くなると、顔の皮脂量が増加してニキビなどに繋がることが報告されています。同様にマスク着用により頭皮の皮膚温も上昇し、皮脂量の増加に繋がった可能性が考えられます。過剰な皮脂は頭皮のベタつきやニオイを引き起こしますので、マスクの着用が続く間は、頭皮の洗浄ケアをしっかり行う必要があると考えられます。

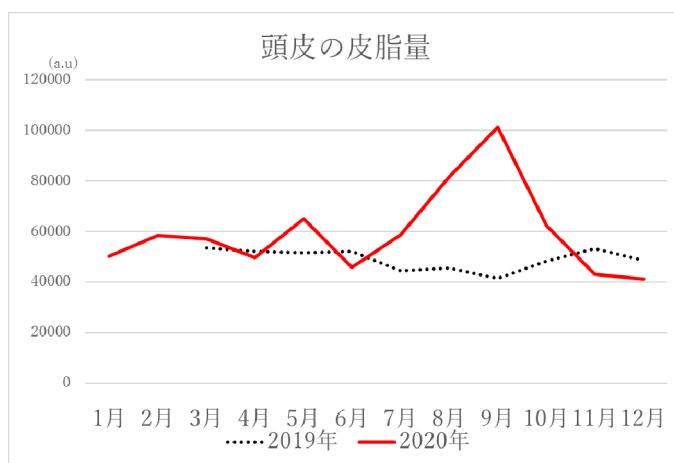


図1

【今後の展望】

美しい毛髪を維持するための、より効果的なヘアケア製品開発、およびヘアケア方法の提案を目指し、今後も頭皮や毛髪のビッグデータ収集と解析を続けます。

《用語解説》

*Smart Skin Care® :

アイティアアクセス株式会社が提供する、高精度なセンサー/システム。端末から頭皮や肌の各種データを取得し、インターネットを経由したクラウドサービスで集約、解析結果をフィードバックする仕組みです。

■リリースに関するお問い合わせ先

株式会社ミルボン

広報室 東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン
TEL 03-3517-3915 FAX 03-3273-3211

株式会社ミルボン／本店：大阪市都島区、社長：佐藤龍二、証券コード：4919（東証1部）